

事業報告書

2026年（令和8年） 3月31日

福山市長様

住所 福山市坪生町五丁目19番17号

団体名 坪生学区まちづくり推進委員会

代表者名 委員長 小出 純二

2025年（令和7年）年 4月30日付け（福東地第3号の6）で交付決定のあった福山市地域まちづくり推進事業を、次のとおり実施しました。

事業名

坪生学区 地域まちづくり推進事業

実施場所

坪生小学校ほか

事業費

2,152,666円

補助金額

2,046,000円

着手年月日

2025年（令和7年） 5月 1日

完成年月日

2026年（令和8年） 3月31日

実施事業の経過及び内容

別紙事業内容報告書のとおり

事業成果

別紙事業内容報告書のとおり

添付書類

1 収支決算書       2 事業内容報告書

3 その他市長が必要と認める書類（ 監査結果の写し ）



## 2025年度 坪生学区（町・地区）地域まちづくり推進事業 事業内容報告書

事業番号	事業名（内容）	詳細 （実施年月日、場所、参加人数など）	課題に対する成果	今後の改善点・課題	事業の振り返り をした場
1	ふれあい事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月9日（土）夏まつり（3,500人）</li> <li>・10月26日（日）ふれ愛フェスティバル（700人）</li> <li>・2026年1月11日（日）健康ウォーキング&amp;とんど祭り（250人）</li> <li>・2026年2月11日（水・祝）紙ヒコーキ製作教室（100人）</li> </ul> 場所は、いずれも坪生小学校	地域の役員の負担軽減を図り、役員自身も楽しむ事のできる事業を目的に行った。 業者委託できるものは昨年同様、お願いした。 また、行事ごとに中学生のボランティアを募集。沢山の方の参加があり事業を展開することができた。	少子高齢化の中での持続可能なまちづくりが求められる中、運営スタッフの大半が高齢者である。 夏まつりではステージ設営の廃止・電気配線を外部に委託することでスタッフの負担軽減を行っていく。 今後もフェスタについては、敬老会と同日に実施予定。	本部役員会 ふれあい部会 会議
2	総務関連事業	5～3月まちづくり便り（年6回）110号まで更新。 カラー刷り回覧にて住民に周知、公式LINEとホームページ作成、更新作業。 東部文化フェスタ模造紙企画・作成。 部会員のデジタル研修。各町内会・各種団体にLINEグループ化の登録の定着。 町内会連合会、本部役員会でのオンライン会議の活用 高齢者向けのスマートフォン講座のお手伝い。	ホームページ、まちづくり公式LINEを通じてスピード感のある情報を発信。行事ごとに、まちづくり公式LINEの宣伝を行い、フォロワー数を増やすことができた。 地域ボランティアが主となり、高齢者対象のスマートフォン講座を開催。インターネット・SNS・アプリの活用方法や安全で正しい使い方などを学んだ。	企画・情報収集作業など部会員全員で協力をしながら進めているが、デジタルの知識のある次の担い手をどう補充するのかが課題。 スマートフォン教室は、大変需要があり単発ではなく、連続講座として行うことでもっと沢山の方に利用してもらえる工夫を検討していきたい。	本部役員会 総務部会会議
3	地域安全対策事業	通年 登下校見守りボランティアによる児童・生徒の通学路安全対策 篠坂スマートインター設置予定に伴い小学校通学路検討委員会の継続。 引き続き県との協議を行う。 交通安全運動街頭キャンペーン参加	学区を往来する車の抑止力になるよう、街頭運動に努めた。また、通学路や危険個所に立て看板やのぼりを設置し、安全対策を強化することができた。 広報カーによる「特殊詐欺被害」等の	現在も募集チラシなどで呼びかけを行っているが、見守りボランティアの担い手不足が課題。 篠坂スマートインター設置（令和10年度に延期）、坪生町東交差点信号機設置、笠岡（篠坂）工業団地（仮）	本部役員会 地域安全部会 会議

〔様式12〕

			身近な情報を周知し安心・安全な地域づくりを行うことができた。	着工に伴い、交通量の増加および事故発生の抑制、小学校の通学路の危険箇所の改善と課題はある。	
4	福祉関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坪生きずな隊高齢者生活支援事業(夏季以外)18件対応</li> <li>・6月7日(土)ふれあいシアター「ぼけますからよろしくおねがいします。」上映会(200人)</li> <li>・10月26日(日)ふれ愛フェスティバルにおいて敬老者を祝う会をおこなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援活動の成果はあがっている。</li> <li>・夏季での敬老会の実施は、暑さ対策等もあり難しいと判断。今年度も、フェスティバルと同日で執り行われた。また、敬老者の方をお祝いするためのアトラクションも催すことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援活動を行っている町内会については、引き続き該当者を紹介し橋渡しを行っている。(町内会内で解決できることは、町内会へ)</li> <li>・きずな隊のレベルでは手に負えない業者レベルの現場があり、支援活動の難しさがある。</li> <li>・敬老会事業およびふれあいシアターについては、来年度以降もフェスティバルにて決行する予定である。</li> </ul>	本部役員会 福祉部会会議
5	環境衛生推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年 坪生学区内 環境美化クリーン活動(県道76号線花壇整備等)坪生交流館内で緑のカーテンの取り組み活動。東朋中学校ボランティア部・中学校PTAとの共同での美化推進活動の実施(年2回)</li> <li>・6月12日(木)福山市環境関連施設見学会(45人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区公衆衛生推進委員会との合同作業で通年行われている。学区内および交流館内での環境美化クリーン活動で今年度も中学生・中学校PTAとも合同で美化活動をおこなうことができた。</li> <li>・環境問題への理解を深めることができた。また、振り返りのためアンケートを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化クリーン活動は、地域ボランティアの人数不足もあり、学区の募集案内を回覧し、継続をめざしている。</li> <li>・環境視察研修については、福山市の施設等を継続利用しながら充実した研修を検討中である。</li> </ul>	本部役員会 環境衛生部会会議
6	自主防災に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月26日(金)新居浜市「防災センター施設見学」講習会(45人)</li> <li>・11月23日(日)防災訓練(430人)坪生小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災センター見学において疑似体験を通じて防災・減災についてまなぶことができた。</li> <li>・福山市の防災訓練日とあわせて、各町内会避難所から避難計画に沿った経路で、坪生小学校へ集合・本部へ人数と安否報告。東消防署所長の講話や「みんなの防災倉庫普及協会代表理事の益本秀則氏の講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東朋中学校の生徒の参加もあり、若い世代とともに防災意識をいかに高めることができるか、また継続的に広報活動を行い、学区全体でたくさんの方に参加していただけるよう企画を検討中である。</li> <li>来年度も、防災視察研修を計画予定である。</li> </ul>	本部役員会 防災部会会議

〔様式12〕

			話のあと消防団・防災リーダーの協力で実地体験を行い防災意識の大切さについて学ぶことができた。		
7	コミュニティ育成事業	通年 各町内会において町内美化活動や各行事の活動費	町内会毎に各種活動日を自主的に決め、より多くの町民が事業や行事に参加しやすいように町内全体で実施する事ができる。	行事内容が多様化し、拠出金の足りないところもある。一部補助とってもらい、できるだけお金のかからない方法や工夫をしていただきながら足りないところは、町内会内で処理をお願いしたい。	町内会連合会・まちづくり推進委員会・本部役員会・町内会連合会役員会
8	まちづくり推進委員会運営事業	7月16日(水)(18人) 2026年2月18日(水)(18人) 各種団体情報交換会議の開催	各種団体同志の行事のあり方や、運営状況などの把握を行うことができた。各種団体に対して、今後の学区の行事のあり方や組織内の活動のスリム化を考えるためのアンケートをお願いした。	会員数が減っていく中、役員人数も限られ、行事を積極的に行わない傾向が強い。今後の行事の在り方は、他団体同士で手をつなぎ合同で開催する等の改善策が必要となってくる。まちづくりとしても協力していく必要がある。	町内会連合会・まちづくり推進委員会・本部役員会・町内会連合会役員会・団体情報交換会議


## 監 査 結 果

2025年度（令和7年度）地域まちづくり推進事業の決算について、証拠書類及び関係帳簿の監査をいたしました結果、正確かつ公正に処理されていることを認めます。

2026年（令和8年）3月31日

坪生学区まちづくり推進委員会

監 査

渡 辺 直 文 

監 査

尾 方 晃 